

【ファッションデザイン科 3年】

		カリキュラム	コマ数	担当
一般科目		コミュニケーション活動Ⅲ	30	菅
専門科目		パターンメイキングⅢ	15	戸澤
		アパレルCADⅡ	15	戸澤
		ファッショントレンドⅢ	15	菅・相川
		ハンドテクニク	30	カルフォ
		ブランドプロデュースⅡ	90	長野・カルフォ
				菅・松本
				繁田
		クリエイティブワーク	240	カルフォ
戸村				
菅・辻本・岩本				
カルフォ				
選択科目	テクニカル	パターンメイキング検定Ⅱ	30	安藤
	アパレルデザイン	プロモーションワーク	30	カルフォ
特別科目		共通選択科目	15	担当講師
年間履修時間数			480	
年間授業日数			180	

シラバス (授業概要)		年度	2026年度
		科目コード	
授業科目名		授業形態	学科・コース
コミュニケーション活動Ⅲ		講義・演習	ファッションデザイン科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数
3	通年	必修	60
		単位数	2
		担当教員	菅 麻紀
授業の目的・目標			
クラスや学科でのグループ活動をとおして、社会性を身に着ける。ファッションに役立つ企画展・展示会などの鑑賞で視野を広げ、リクリエーションを通してコミュニケーションの大切さを学ぶ。			
授業の概要			
各種プログラムを通して、感性の向上とコミュニケーションの重要性を理解し、相手に考えや意思を伝え合うことを学ぶ。			
成績評価の方法			
参加意欲や姿勢・レポートなど総合的に評価する。		平常点	50%
		レポート	50%
使用テキスト・教材			
授業内容・授業計画			
	時間数		時間数
1. オリエンテーション	2		
2. "	2		
3. "	2		
4. "	2		
5. 学校行事・学科活動	2		
6. 芸術鑑賞	2		
7. "	2		
8. 健康診断	2		
9. レクリエーション	2		
10. "	2		
11. "	2		
12. "	2		
13. ファッション校外研修	2		
14. "	2		
15. "	2		
その他		関連科目	
※単元ごと演習課題を実施する。			
※実務経験のある教員が担当する科目である。			

シラバス (授業概要)				年度	2026年度
				科目コード	
授業科目名			授業形態	学科・コース	
パターンメイキングⅢ			講義・ 演習	ファッションデザイン科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	前期	必修	30	1	戸澤 智也子
授業の目的・目標					
服の構造についての応用力のある高度な技術を身につけることができる。					
授業の概要					
高度な服の正確なパターン製作が身に付く。多様化するアパレル製品の対応力を習得する。					
成績評価の方法					
課題評価、授業態度、出席率を総合して評価。				授業態度	50%
				課題	50%
使用テキスト・教材					
授業内容・授業計画					
			時間数		時間数
1	グレーディング練習(スカート・ブラウス)		4		
2	グレーディング(パンツ)		2		
3	コートの工業パターン表・裏・芯		4		
4	マーキングについて		2		
5	コートの製図(ラグラン袖)		4		
6	テーラードカラーの書き方復習(展開含む)		2		
7	ジャケットの製図(身頃)		4		
8	ジャケットの製図(2枚袖)		2		
9	練習問題		2		
10	ベスト縫製方法(実習)		4		
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス (授業概要)		年度	2026年度
		科目コード	
授業科目名		授業形態	学科・コース
アパレルCAD II		講義・演習	ファッションデザイン科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数
3	前期	必修	30
		単位数	担当教員
		1	戸澤 智也子
授業の目的・目標			
アパレル業界で就職するにあたっての、CADの重要性の確認。手作業で行うパターン作成をスムーズに又正確にCAD化できるようになる。CADデータを3Dソフトデータとして活用できるようになる。CADデータをイラストレーター内に取り込みテキストスタイルデザインとリンクできるようになる。			
授業の概要			
従来紙で行っていたパターンメイキング、グレーディング、マーキングの作業を効率化し、スピードと精度を向上させる			
成績評価の方法			
課題評価、授業態度、出席率を総合して評価。		授業態度	50%
		課題	50%
使用テキスト・教材			
電卓、定規			
授業内容・授業計画			
	時間数		時間数
1 コートの製図 (基本)	4		
2 コートの製図 (各自)	8		
3 パーツ化	4		
4 仕様書の作成 (EXCELデータ)	4		
テクニカルコース			
4 ポケット当付属パーツの製作	4		
5 裏地の製作	2		
6 芯地の製作	2		
7 プロッターから出力	2		
デザインコース			
4 Tシャツの製図 (基本)	2		
5 Tシャツの製図 (各自)	2		
6 データのイラストレーターへの移行方法	2		
7 オリジナルTシャツの製作	4		
その他		関連科目	
※単元ごと演習課題を実施する。		アパレルCAD I	
※実務経験のある教員が担当する科目である。			

シラバス (授業概要)				年度	2026年度
				科目コード	
授業科目名			授業形態	学科・コース	
ファッショントレンドⅢ			講義・演習	ファッションデザイン科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	通年	必修	30	1	菅 麻紀 相川 克彦
授業の目的・目標					
パラダイムシフトの中におけるファッションの変化を理解しながら、新時代の業界人の役割を理解する。					
授業の概要					
世界のファッションビジネス&トレンドの重要なニュースを追いながら、業界の近未来を展望する。					
成績評価の方法					
課題提出および授業の出席率を総合的に評価				課題	60%
				学習意欲	40%
使用テキスト・教材					
ファッション週刊誌「WWDJAPAN」「WWDJAPAN Digital」(INFASパブリケーションズ)					
授業内容・授業計画					
			時間数	時間数	
1. WWD JAPAN紙面よりトピック解説			2		
2. "			2		
3. "			2		
4. "			2		
5. "			2		
6. "			2		
7. "			2		
8. "			2		
9. "			2		
10. "			2		
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス (授業概要)		年度	2026年度		
		科目コード			
時間数は45分換算					
授業科目名		授業形態	学科・コース		
ハンドテクニック		実習	ファッションデザイン科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	前期	必修	90	3	カルフォ香奈
授業の目的・目標					
服飾造形で学んだ縫製技術を、状況にあわせて応用、展開し、発展する力が身につく。制作しながら仕様、始末、ディテール、素材の見直しをしてより良いサンプルにしていくための柔軟性を養う。チームでのプロジェクト推進力やチームワーク力、判断力を養う。					
授業の概要					
ブランドのパターン授業で作ったパターンを使用して、展示会にむけてサンプルを制作する。サンプルとして商品と同じレベルに仕上げるために、縫い代の始末や細かい仕様を確認しながら進めていく。変更したデザインやディテールなどのハンガーイラストは、修正をして展示会の資料を作り展示会の準備をする。					
成績評価の方法					
<ul style="list-style-type: none"> 課題提出 (サンプルの完成度) 学習意欲 (チームワークのあり方、授業に取り組む姿勢) 展示会のプレゼンテーション 				課題	60%
				学習意欲	20%
				プレゼン	20%
使用テキスト・教材					
文化ファッション大系テキスト・造形分野全テキスト・縫製道具一式					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1.	パターントワル検証、始末、生地付属確認	4			
2.	生地裁断、芯はり	8			
3.	サンプル制作	54			
4.	小物制作	10			
5.	サンプル仕上げ、最終プレス	4			
6.	アイテム表作り、品質確認、プレゼン準備	6			
7.	サンプル展示会準備	4			
8.					
9.					
10.					
11.					
12.					
13.					
14.					
15.					
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。			BP関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス (授業概要)				年度	2026年度
				科目コード	
授業科目名			授業形態	学科・コース	
ブランドプロデュースⅡ			実習	ファッションデザイン科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	前期	必修	90	3	長野 景惟 カルフォ香奈 (検品)
授業の目的・目標					
効率的でスピード感をもったアパレル生産のスキルの習得 基礎から応用までの総合的な造形技術を一段と高めることができる					
授業の概要					
サンプリング時の縫製工程を基に、量産のための明確かつ効率的な工程作りを学ぶ 作業フォローに沿った生産を行い、美しく安定した品質の製品に仕上げる 造形技術を習得する。製品は検品の上、出荷する。					
成績評価の方法					
1. 提出課題 (提出率・課題の完成度) 2. 学習意欲 (授業に取り組む姿勢の有無)				提出課題	80%
				学習意欲	20%
使用テキスト・教材					
文化ファッション大系テキスト・造形分野全テキスト・縫製道具一式・ブランドタグ					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. サンプル検証、生産数等調整			2		
2. パターン修正、グレーディング			6		
3. 裁断・芯貼り等準備			12		
4. 商品生産			60		
5. 最終プレス、①検品、検針			5		
6. ②最終検品			5		
その他			関連科目		
※单元ごと演習課題を実施する。			BP関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス (授業概要)		年度		2026年度	
		科目コード			
授業科目名			授業形態		学科・コース
ブランドプロデュースⅡ			実習		ファッションデザイン科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	前期	必修	34	1	菅 麻紀
授業の目的・目標					
ブランド立ち上げからデザイン・生産・出店に向け、関連授業の関係性の理解と流れを理解し、出店販売を実践する。					
授業の概要					
マーケティング・企画・デザイン・商品生産からプロモーション活動、VMDなど、店頭販売に向けた運営方法を実践学習する。					
成績評価の方法					
学習意欲・課題など総合的に評価する。				学習意欲	70%
				平常点	30%
使用テキスト・教材					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. プロモーション素材準備			4		
2. SNS活用について			4		
3. 適宜 出店準備実習			4		
4. //					
5. 店頭研修			4		
6. 実践販売			4		
7. 売上集計・振り返り			4		
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。			BP関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス (授業概要)		年度	2026年度
		科目コード	
時間数は45分換算			
授業科目名		授業形態	学科・コース
ブランドプロデュースⅡ		実習	ファッションデザイン科
履修学年	履修学期	必修・選択	担当教員
3	前期	必修	松本 眞由美
授業の目的・目標			
ブランド企画デザイン生産において必要な計数管理を理解し、商品企画・販促企画と連動した実習店舗の売上目標の設定から売上利益の把握、売上分析ができる			
授業の概要			
ブランド企画デザイン生産において必要な売上・仕入・原価計算・在庫・利益等に関する基本知識を、実習店舗の企画・運営・終了後の分析に関する計算演習を通し実践的に理解する			
成績評価の方法			
期末試験、学習意欲（授業に取り組む姿勢）で評価する		期末試験	90%
		学習意欲	10%
使用テキスト・教材			
オリジナル			
授業内容・授業計画			
		時間数	時間数
1	計数管理の意義	2	
2	損益計算書の仕組みと事例	2	
3	比率の計算（売	2	
4	仕入高・在庫高	2	
5	利益の仕組み（値入と粗利）	2	
6	値引きと売上利益・粗利ミックス	2	
7	実習店舗 製造原価と売価設定	2	
8	損益分岐点と目標利益達成点	2	
9	〃（実習店舗経費・目標利益の確認）	2	
10	実習店舗売上集計（ブランド別含む）	2	
11	〃	2	
12	〃	2	
13	期末試験	2	
(学校行事との関係で順序変更の場合があります)			
その他		関連科目	
※単元ごと演習課題を実施する。		BP関連科目	
※実務経験のある教員が担当する科目である。			

シラバス (授業概要)		年度	2026年度		
		科目コード			
時間数は45分換算					
授業科目名		授業形態	学科・コース		
ブランドプロデュースⅡ		実習	ファッションデザイン科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	前期	必修	30	1	繁田 和美
授業の目的・目標					
売り場づくりの基本である【商品陳列】から【演出】についての一般的な知識と技術の習得。ブランドコンセプトや商品特性に基づく演出計画と店頭プレゼンテーションが出来る。					
授業の概要					
店頭演出計画の立案や店舗運営時の店内業務に必要な、VMDの基礎知識を学び、実習店舗での売場づくりにおいて実践する。 自ら企画立案、計画に基づく売場を作成し、リアルな販売や売上を通してVMDを実店舗に繋げる力を身につける。					
成績評価の方法					
課題 (提出の有無、提出された課題の完成度)				課題	40%
平常点 (主体的な授業参加度)				平常点	40%
学習意欲 (学習意欲の有無、取組む姿勢)				学習意欲	20%
使用テキスト・教材					
・資料等配布					
授業内容・授業計画					
			時間数		時間数
1.	VMDの概要 VMDの定義		2		
2.	陳列技術 (IP)の基礎、定数定量		2		
3.	演出技術 (VP・PP)の基礎		2		
4.	店舗リサーチ (フィールドワーク)		2		
5.	ディスプレイプランニング/実習		2		
6.	プランニング		2		
7.	学内プレゼンテーション		2		
8.	制作		2		
9.	制作		2		
10.	シミュレーション①		2		
11.	準備&製作/実習①		2		
12.	シミュレーション②		2		
13.	準備&製作/実習②		2		
14.	現場設営①		2		
15.	現場設営②		2		
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。			BP関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス (授業概要)		年度		2026年度	
		科目コード			
授業科目名			授業形態		学科・コース
クリエイティブワーク			実習		ファッションデザイン科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	前期	必修	60	2	カルフォ香奈
授業の目的・目標					
<p>テーマからリサーチ (マインドマップ、ムードボード、素材、シルエット、ディテール、コンセプト) をして、アイデアをデザイン・立体・素材におとすことができる。学生だから出来る事、既成概念に囚われず、自由で柔軟な発想をし、チャレンジ精神をもって表現することができる。</p>					
授業の概要					
<p>一対一の対話から始め、学生が自発的に手を動かしてリサーチ、デザインしていく。失敗を恐れず、過程を大切に、自分がどういった制作をしたいのか、したのかをスケッチブック記録する。デザイン審査会ではリサーチからどのような過程を経てデザインに繋げていったかをプレゼンする。他の先生達の意見も取り入れて、ブラッシュアップを図りより良いデザインになる様にする。</p>					
成績評価の方法					
<ul style="list-style-type: none"> 課題提出 (作品完成度、発想の独自性、デザイン過程) 学習意欲 プレゼンテーション 				課題	60%
				学習意欲	20%
				プレゼン	20%
使用テキスト・教材					
スケッチブック、パソコン、1/2マネキン、画材道具一式、					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. シラバス説明、全体テーマ決め			4		
2. マインドマップ、			4		
3. ムードボード、リサーチ①			4		
4. ムードボード、生地リサーチ②			4		
5. 手を動かしてリサーチ、ラフデザイン①			4		
6. 手を動かしてリサーチ、ラフデザイン②			4		
7. 1対1対話 デザイン展開			4		
8. 生地・ディテールなどの試作①			4		
9. 生地・ディテールなどの発展②			4		
10. 1対1対話 デザイン発展			4		
11. デザイン画にしていく			4		
12. 審査会準備			4		
13. デザイン審査①			4		
14. デザイン審査②			4		
15. まとめ			4		
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。			CW関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス (授業概要)				年度	2026年度
				科目コード	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
クリエイティブワーク		実習		ファッションデザイン科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	通年	必修	340	11	戸村 寿恵子
授業の目的・目標					
総合的技術と応用力をいかし、自らの手で出来る事を最大限に活かし、卒業後の就職に、少なくとも、影響を与えることと思われる					
授業の概要					
各自の感覚と感性を活かし縫製技術力を集結させ、素材の特徴を生かした、オリジナリティーのある製作をする。その集大成として「デザイン・ア・ラ・モード2027」にて発表を行う。					
成績評価の方法					
マテリアルの使い方、縫製技術力、授業態度、作品提出。				課題	60%
				学習意欲	40%
使用テキスト・教材					
文化ファッション大系・プリント配布					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1	採寸の説明・モデル採寸	4	16	最終チェック 直し	10
2	シラバス説明・作品について説明	4	17	付属品製作実習 (ヘアー・靴の装飾)	10
3	デザインの確認・作図・ドレーピング実習	40	18	トータルチェック	5
4	トワル組立 (シーチングに移す)		19	仕上げ	5
5	仮縫い補正	20			
6	パターン直し・.組立・再度仮縫い	16			
7	補正. 工業用パターン製作	14			
8	パターンチェック完成	5			
9	実物裁断実習	10			
10	製作実習	92			
11	中間チェック	5			
12	中間ボディー着装チェック	5			
13	バランス直し	10			
14	製作実習	80			
15	製作チェック	5			
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。			CW関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス (授業概要)		年度	2026年度
		科目コード	
授業科目名		授業形態	学科・コース
クリエイティブワーク		実習	ファッションデザイン科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数
3	通年	必修	60
		単位数	2
		担当教員	
		菅麻紀・辻本真友み 岩本ひとみ	
授業の目的・目標			
卒業制作の作品衣装に演出を添えて、ファッションショーを構成し実施する。自身のクリエイションをコンセプト的に魅せる手法を追求し、ワークを通じてコミュニケーション力を強化し実践する。			
授業の概要			
卒業制作展 デザイン ア・ラ・モードの実施に向けて、3年間の知識技術を結集し、企画からデザイン・制作・演出の全てを他者と協働し実現実行する。			
成績評価の方法			
1. 平常点 (主体的な授業参加度)		平常点	50%
2. 学習意欲 (学習意欲の有無、授業に取り組む姿勢)		学習意欲	40%
3. 課題 (提出率と提出された課題の完成度)		課題	10%
使用テキスト・教材			
授業内容・授業計画			
	時間数		時間数
1. 演出検討	20		
2. //			
3. 企画構成または台本作成	8		
4. //			
5. モデルウォーキングレッスン	8		
6. //			
7. ヘアメイクデザイン・練習	4		
8. //			
9. ショー練習	10		
10. リハーサル・本番	10		
その他		関連科目	
※単元ごと演習課題を実施する。		CW関連科目	
※実務経験のある教員が担当する科目である。			

シラバス (授業概要)		年度	2026年度		
		科目コード			
授業科目名		授業形態	学科・コース		
クリエイティブワーク		実習	ファッションデザイン科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	後期	必修	30	1	カルフォ 香奈
授業の目的・目標					
卒業制作の作品とプロセス（アイデアからどのように発展させたか、オリジナルスケッチやリサーチ）を人に伝わるように1冊のポートフォリオで表現できる。					
授業の概要					
卒業制作を始める頃から意識的にリサーチやスケッチをとっておき、途中のプロセスなども写真を撮ったりしておく。最終的に、作品の写真を撮影し、リサーチ、ビジュアルリサーチ、スケッチ、デザインアイデア、プロセス、生地サンプル、作品写真、デザイン展開などを編集して1冊のポートフォリオにまとめる。					
成績評価の方法					
<ul style="list-style-type: none"> 課題提出（ポートフォリオの内容、クオリティ） 学習意欲 			課題	80%	
			学習意欲	20%	
使用テキスト・教材					
スケッチブック、パソコン、制作した生地サンプルなど、絵具ほか画材					
授業内容・授業計画					
			時間数		時間数
1	授業説明、いれる内容確認		2		
2	構成をラフに考える		4		
3	作品写真撮影		4		
4	内容の制作と編集 デザイン画、プロセスなど		4		
5	↓		4		
6	内容を印刷してまとめていく		4		
7	↓		4		
8	冊子にする、提出		4		
その他			関連科目		
※单元ごと演習課題を実施する。			CW関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス (授業概要)		年度	2026年度
		科目コード	
授業科目名		授業形態	学科・コース
パターンメイキング検定Ⅱ		講義・演習	ファッションデザイン科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数
3	前期	選択	30
		単位数	1
		担当教員	
		安藤 明子	
授業の目的・目標			
アウターとしての生地選び方・扱い方、各部の縫製法・始末など、既に学んだあるいは新たに学んだテクニックを使い裏付きのコートを制作。また制作工程・仕様などを資料としてまとめる。			
授業の概要			
CADで制作したパターンを使用してラグランスリーブの裏地付きのコートを制作する。生地・裏地等の裁断、本体の縫製、各部の始末などを説明後に実習する。制作と並行して工程表もまとめる。			
成績評価の方法			
授業に取り組む姿勢、習熟度、制作物の完成度および期限内提出などを総合して評価する		取り組み姿勢	30%
		習熟度	30%
		完成度	40%
使用テキスト・教材			
服飾造形講座5 コート・ケープ、誌上パターン塾5 ジャケット、コート編			
授業内容・授業計画			
		時間数	時間数
1	シラバス・基礎知識・縫製工程説明	2	
2	パターンカット	2	
3	裁断・印付け・芯貼	8	
4	縫代始末	4	
5	ポケット	4	
6	表地一後ろ中心・袖山・袖下	4	
7	裏地一裏身頃・見返し接ぎ	4	
8	裏袖作り一袖作り	4	
9	表袖付け・裏袖付け	4	
10	表衿付け・裏衿付け	4	
11	四つ止め、衿外回り	6	
12	前端	3	
13	表裾始末、ステッチ	5	
14	肩パット・中とじ・ボタンつけ	4	
15	工程表・仕様書作成	2	
その他		関連科目	
※単元ごと演習課題を実施する。			
※実務経験のある教員が担当する科目である。			

シラバス (授業概要)		年度	2026年度
		科目コード	
授業科目名		授業形態	学科・コース
プロモーションワーク		講義・ 演習	ファッションデザイン科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数
3	前期	選択	30
		単位数	1
		担当教員	
		カルフォ香奈	
授業の目的・目標			
3 DCGソフトウェアCLOを使用して、2026AWコレクション（デザインコンセプトを軸にバリエーションのあるデザイン）を制作することができる。 服のディテールを理解し、既制服の中に自由で柔軟な発想を入れたデザインを表現することができる。			
授業の概要			
テーマ「不安定な時代×感情」から自分のデザインコンセプトを決め、ムードボード（雰囲気、色、素材感）を作成する。アウター（トレンチコート、JK、ダウン）のディテールが入ったラフデザインをそれぞれ3体ずつ合計9体手書きでして、その中から4体～6体をCLOで制作。（秋冬の素材感をデザインに入れる）最後はプレゼンテーションで発表する。			
成績評価の方法			
<ul style="list-style-type: none"> 提出課題（作品のデザインとクオリティ） 学習意欲 プレゼンテーション 		課題	60%
		学習意欲	20%
		プレゼン	20%
使用テキスト・教材			
パソコン、Adobe (Illustrator)、CLO (3D Fashion Design Software) CLO:Digital Modelism 教科書、配布資料、			
授業内容・授業計画			
1	シラバス説明、リサーチ、デザインコンセプト	4	時間数
2	ムードボード、ラフデザイン	4	
3	デザイン決め	4	
4	CLOを使用 作品制作	4	
5		4	
6		4	
7		4	
8		4	
9	↓	4	
10		4	
11		4	
12		4	
13		4	
14	プレゼン準備	4	
15	プレゼンテーション	4	
その他		関連科目	
※単元ごと演習課題を実施する。			
※実務経験のある教員が担当する科目である。			